

スピード女子500

上田(高)少年6位 大岩(プライズ)成年7位

第79回国スポ スケート アイスホッケー

第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技。学光星高が6位入賞。成年の大岩未奈美(プライズ)が7位に入

トとライギユアスケート、シヨートトラックの3競技を行った。青森県はスピードの女子500メートルで、少年の上田千聖(八戸学院)が4位で、宮城・金井愛未(八学大)が19位、田名部飛至也(八学光星高)が23位、女子の工藤緒心(八戸一中)が16位

で、上位24人によるフリーに進出。藤原愛菜(八学光星高)は25位で惜しくも敗れた。シヨートトラック成年男子1000メートルは、毛利信太郎(サクサシステムエンジニアリング)が予選で敗退した。28日も群馬、岡山両県で3競技を行った。

スピードスケート
27日・群馬県高崎健康福祉大学伊香保リンク
学光星高(八学大)が19位、田名部飛至也(八学光星高)が23位、女子の工藤緒心(八戸一中)が16位

モトグループ 36秒75
▽成年男子1000メートル
1分14秒68 準決勝進出
①山形学院 42秒59
②同1000メートル
③下村瑠々(高崎健康福祉大) 1分27秒93 決勝進出
④吉田愛実(八戸高) 4分43秒13 決勝進出

「組運に恵まれて決勝に進むことができた」と語る三浦。インターカレッジで好成績を残した選手とのレース内容を振り返り、「来年はもっと成長して、速い選手の中にも戦える滑りを目指したい」と誓った。



【成年女子500メートルB決勝】7位入賞した青森・宮城・金井愛未(八学大) 左と5位入賞した高崎健康福祉大学伊香保リンク

八学大2選手 入賞果たす

○…成年女子500メートル決勝で八学大の2選手が入賞を果たした。1-4位決定戦(A決勝)に進

んだ岩手・三浦陽が4位、5-8決定戦(B決勝)では宮城・金井愛未が5位の成績を残した。賞状を受け取った後、同大卒の青森・大岩未奈美(プライズ)と共に3人で記念撮影する場面も見られた。

「組運に恵まれて決勝に進むことができた」と語る三浦。インターカレッジで好成績を残した選手とのレース内容を振り返り、「来年はもっと成長して、速い選手の中にも戦える滑りを目指したい」と誓った。

金井は焦らず滑ることを意識。勝負どころと決めた最後の直線を滑り切り、B決勝の一番手でゴール。5位入賞に「うれしいと同時に、少し悔しい」と同時に、少し悔しい



成年女子500メートルでそれぞれ入賞した(左から)岩手の三浦陽と宮城の金井愛未(ともに八学大)、三浦選手提供

田名部(光星)、工藤(八中)フリーへ

フィギュア

▽少年男子ショートプログラム
 ①和田薫子(愛知・前津中) 62
 ・38点②岡(京都・宇治中) 60
 80点③山田(京都・広野中) 58
 ・94点④工藤緒心(八戸一中) 45
 18点⑤藤原愛菜(八戸学院光星高) 35
 ・02点
 (フリー出場は24位まで)

▽少年女子ショートプログラム
 ①和田薫子(愛知・前津中) 62
 ・38点②岡(京都・宇治中) 60
 80点③山田(京都・広野中) 58
 ・94点④工藤緒心(八戸一中) 45
 18点⑤藤原愛菜(八戸学院光星高) 35
 ・02点
 (フリー出場は24位まで)

▽少年男子ショートプログラム
 ①中田瑠土(千葉・愛知中京大
 中京高) 80・03点②高橋(京都・
 愛知星橋名古屋中) 78・34点③鮎
 原(東京・駒場学園高) 77・81点
 ④堀野伊織(木ノ下中) 46・40点
 ⑤田名部飛至也(八戸学院光星高)
 43・78点
 (フリー出場は24位まで)

田名部23位 大技は封印

○：フィギュア少年男

子ショートプログラムで、青森の田名部飛至也(八学光星高)は大技を封印して43・78点で23位に入り、28日のフリーに進出。「7割ぐらいの演技はできた」とほっとした表情を浮かべた。

「いつも一緒に練習している皆が応援してくれて、楽しめた」。八戸フィギュアスケートクラブの仲間の声援があった今回は、予選落ちした21日のインターハイより安定感が増した。

出場選手2人の個人順位で争う都道府県順位を考慮し、練習中のトリプルフリップの回転を一つ下げたことも奏功。3回全てのジャンプを成功させた。

一方、インターハイから疲れが抜けず、調子は上向きではないという。フリーに向けて「最初から最後まで集中しながら、楽しく滑りたい」と意気込んだ。

【フィギュア少年女子ショートプログラム】
35・02点だった青森の藤原愛菜



藤原(光星)敗退 0・17点届かず

○：フィギュア少年女子
 ショートプログラムで青森の藤原愛菜(八学光星高)は35・02点の25位で、フリー進出ラインに0・17点届かず惜しくも敗退。「最後にミスしてしまつて、得点が伸びなかった」と悔しがった。

大舞台で一つのミスに泣いたが、また高校1年生。来季に向けて「トリプルのジャンプの種類を増やし、スケーティングの技術をもっと高めた」と顔を上げた。

【フィギュア少年男子ショートプログラム】青森の田名部飛至也は43・78点でフリー進出を決めた

〓ヘルスピア倉敷アイスアリーナ

